

小論文 出題意図

問題 1

本設問は、身近な金銭管理や購入行動を通して、自立した消費者としての意思決定力と社会的責任の理解を評価することを目的としている。近年の多様な購買環境の中では、契約内容や情報を正しく理解し、将来や社会のことを考えて判断・行動する力が求められている。

受験者には、持続可能な社会を見据えた金銭管理と意思決定のあり方について、自らの経験や具体例を交えて論じることが期待される。論述を通して、以下の 3 点を総合的に評価する。

- ①契約内容の確認や情報の信頼性を見極め、環境や社会への影響を考えた選択など、現代の消費者に求められる課題を踏まえ、情報を鵜呑みにせず、自らの判断で適切に意思決定する力の重要性を理解しているか。
- ②消費者としての意思決定や金銭管理のあり方について、具体例をもとに論理的に考えを展開しているか。
- ③持続可能な社会の実現に向けた自らの考えや価値観を、自立した生活との関連で明確に表現しているか。

小論文 出題意図

問題2

本設問は、受験者が家庭内事故防止とユニバーサルデザインの関連性を理解し、自らの生活空間を主体的に改善しようとする力を育んでいるかを確認することを目的とする。

受験者には、安全な住環境の整え方について、自らの経験や具体例を交えて論じることが期待される。論述内容は、以下の3観点から総合的に評価する。

①安全性の理解力

日常生活の中で起こりうる家庭内事故を具体的に想定し、事故の要因を「環境」「行動」「年齢特性」などの観点から分析できているか。

②改善策の構想力

家庭内の危険箇所を特定し、費用を伴う安全対策（ハード面）を具体的に提案できているか。

③発想転換・UD的思考力

経済的制約や介助への依存を前提とせず、自立・共生を重視したユニバーサルデザインの視点（使いやすさ・安全・公平性・理解しやすさ等）から改善策を考えられているか。